
馬鹿と試験と召喚獣

小粥 憂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

馬鹿と試験と召喚獣

【Nコード】

N3048P

【作者名】

小粥 憂

【あらすじ】

不本意なことに、Fクラスとなってしまうた彼――三島唯人。真面目だが、Fクラスに流されてしまう。「無駄にパワフルなヤツらめ……！オレを巻き込むな……！」

コメディです。ラブはありません。ライクです。

クラス振り分け試験

私は文月学園の教師だ。

この学園には2つの特徴がある

ひとつ、2年生からクラスが学力によって決まること。

ひとつ、試験召喚システムを取り入れていること。

まあ、一風変わった学園なのだろう。

そして今、クラス振り分け試験の真っ最中。私は監督をしている。
何事も無く順調に進んでいる・・・、と言いたいのだが。

女子生徒の一人、姫路瑞希ひめじみずきが体調不良で途中退席してしまった。

彼女なら、最高クラス『A』に入ることができただろうに。

退席は無得点扱いしなければならぬ。

私も心苦しいが・・・だが、規則ならばしょうがない。

さらにもう一人、遅刻している生徒がいる。

こちらは男子生徒であり、間違っても遅刻をするような者ではない
のだが・・・。

連絡は無い。

彼もまた成績優秀で、Aクラス入りは確実だろう。

・・・ちゃんと試験を受けていればの話だが。

副監督の西村先生も、心なしかソワソワしているように思う。

このままでは、優秀な二人ともが最低クラス『F』に入ってしまう。こちらとしても、それは避けたい。

すでに、残りの試験は一教科のみ。

古文。彼の得意科目だったはずだ。

例え1教科であれ、彼ならFクラスを避けるだけの点をとることができるだろう。

原則として、開始時間から20分以内なら、試験を受けることが可能だ。

間に合ってくれっ・・・!!

などと考えていたのが19分前。

もうだめだろう・・・。

二人が、Fだと知ったときの同僚たちも
さぞ残念がるに違いない。

- - - ダダダダダダダダダッ・・

かくゆう私も、非常に残念に・・ん？

- - - タタタタタタタタッ！

も・もしや！？

- - - ・タタタタタタタタッタン！！

- - - ガラッ・・

「つすみません。」

慌てて時計を確認する。

つ時間は・・！！???

「残念ですが・・テストを受けることはできません。」
世の中、そう上手くはできていないらしい。

規則だから・・・しょうがない。

力の抜けそうな体に活を入れ、改めて遅刻してきた生徒に向き・
合・・・・・・て・・・・。

「ひいっ！ー！そ、その血は・・・っ」

血だらけだった。

「うえ！？・・・あつ、大丈夫です。」

一寸、驚いたようだったが、平然と説明している。

「・・・怪我を、していないのか？」

「はい。問題ありません。」

してなかった。

それに加え、落ち着いている。

「そう、か・・・西村先生。彼から事情を聞いて、対応してください
い」

西野先生はひとつ頷くと、生徒を連れ教室を出た。

さて、私は・・・。

「テストに集中しなさい。」

生徒たちは、ハツとしたようにペンを走らせはじめた。

重要な試験とはいえ、さすがに血だらけの級友が入ってきたら動揺もする。

仕方のない事としておこう。

さて、こちら大丈夫なようだが、問題は・・・西野先生の方。

いったい彼、三嶋唯人^{みしま ゆいと}に何があつたのだか・・・。

ハアア・・・

静かな教室に、無意識にこぼれたため息が響く。
いけない、生徒たちは集中していると言うのに。

もう一度、気持ちに活を入れなおす。

「残り時間30分！」

クラス振り分け試験（後書き）

小説にそって進んでいきます。

突発的にはじめたので、途中から予定と異なってしまうかもしれませんが。

また、更新が亀となる可能性も・・・。

よろしくお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3048p/>

馬鹿と試験と召喚獣

2011年10月8日04時12分発行